

令和5年度企画展「<sup>あきんど</sup>商人たちの選択～千葉を生きた商家の近世・近現代～」を開催します！

郷土博物館では、令和5年度企画展「<sup>あきんど</sup>商人たちの選択 ～千葉を生きた商家の近世・近現代～」を開催しますので、お知らせします。

## 1 タイトル

商人たちの選択 ～千葉を生きた商家の近世・近現代～

## 2 概要

江戸時代に物流の拠点として繁栄した千葉町は、明治6年に千葉県が成立すると、県庁が置かれて県都となりました。大正時代に市制が施行され、昭和時代には空襲で被害を受けたものの、戦後復興・高度成長で再び反映を遂げるなど、激動の時代を歩んできました。今年には県都となって150年の節目の年に当たります。本展では、その激動するまちの歩みを商業活動に焦点をあてて見ていきます。千葉のまちの繁栄を支えた多くの商家がある中で、今回は特徴ある岩田屋・多田屋・奈良屋の3家を中心として取り上げ、事業の様子や時代の激動の中における商人としての様々な選択について紹介します。

## 3 期間

令和5年7月11日（火）～9月3日（日）  
9：00～17：00まで（入館16：30まで）  
※休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日が休館）

## 4 会場

千葉市立郷土博物館 2階展示室

## 5 観覧料

無料

## 6 主な展示資料

- (1) 奈良屋時計（千葉県立中央博物館大利根分館蔵）
- (2) 広告チラシ（ニューナラヤオープン）（当館蔵）
- (3) 「内田式救急療具」広告（多田屋教育品部）（当館蔵）
- (4) 法被（タダヤ能勢）（個人蔵）
- (5) 岩田屋全景（『日本博覧図』）（個人蔵）
- (6) 写真「和田紙店」（個人蔵）

<参考1>

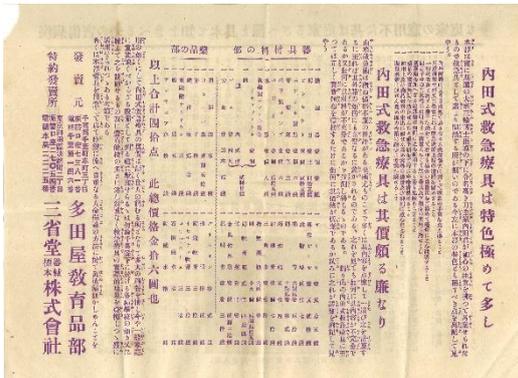
広報用提供画像（企画展）



①奈良屋時計（明治20年代）  
（千葉県立中央博物館大根分館蔵）



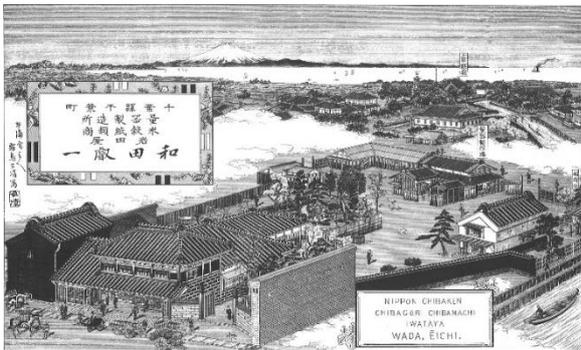
②広告チラシ（ニューナラヤオープン）  
（当館蔵）



③「内田式救急療具」広告（多田屋教育品部）  
（大正時代初期）  
（当館蔵）



④法被（タダヤ能勢）  
（個人蔵）



⑤岩田屋全景（『日本博覧図』明治27年）  
（個人蔵）



⑥写真「和紙店」（昭和時代戦後）  
（個人蔵）

※画像をご利用される場合は郷土博物館までご連絡ください。

## <参考2>

### コラボ企画「千葉市中央図書館『奈良屋八代目 杉本郁太郎 ～俳人杉本北柿～』展示」

千葉市中央図書館では、千葉市立郷土博物館とのコラボ企画として「奈良屋八代目 杉本郁太郎 ～俳人杉本北柿～」の展示を開催します。

千葉市立郷土博物館の「商人たちの選択～千葉を生きた商家の近世・近現代」の3家の中から、千葉市の文化人であり俳人であった奈良屋8代目の杉本郁太郎氏の生涯を奈良屋の歴史とともに、千葉市図書館の所蔵資料を使ってご紹介します。

#### 1 タイトル

「奈良屋八代目 杉本郁太郎 ～俳人 杉本北柿～」

#### 2 概要

創業260年を超えた老舗が、戦争を乗り越えてなお発展し、千葉でトップの売上高を誇るほどになり、また三越との合併を果たすなど、千葉市の経済活動の中心であった一方、杉本郁太郎氏は、俳人として同人雑誌「原人」の主宰、千葉市の文化誌である「あでるは」や「カルチャー千葉」の発行を手がけ、千葉市文化振興センターの理事長としても活躍された千葉市の文化人であることを紹介します。

#### 3 期間

令和5年8月3日（木）～9月3日（日）

#### 4 会場

千葉市中央図書館 2階地域展示コーナー

#### 5 主な展示資料

「奈良屋式百式拾年」

「写真集 明治大正昭和 千葉 ふるさとの思い出」

「奈良屋二百年」

「原人」初版本～

「あでるは」創刊号～

「カルチャー千葉」創刊号～

#### 6 問い合わせ先

教育委員会事務局生涯学習部中央図書館情報資料課

電話 287-4062